

株式会社Waqoo

決算補足説明資料

2026年9月期【第1四半期 連結】

2026年2月12日

Waqooグループは、以下のMissionおよびVisionの実現により、
社会に貢献しながら、持続的な成長を目指します。

Mission（存在意義・使命）

自国の未来に希望を創る

Vision（目指す姿・状態）

**細胞^{ヒト}＝人類の可能性を最大限に引き出し、
悩める人に選択肢を提供する**

Waqooは、D2Cからメディカルサポートへ

私たちは『再生医療技術』を用いて、『ヘルスケア領域』の課題解決を目指します。



安全性

再生医療という新領域における潜在リスクを事前に予見し排除。高度な安全性を実現



効果効能

幹細胞研究を基盤としてマーケットニーズに合わせた効果の高い再生医療サービスを展開



革新技術

私たちの生活や社会に大きなインパクトを与える科学的な発見や革新的な技術の追及

AGENDA

- P. 5** Executive Summary
- P. 8** 1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト
- P. 13** 2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
- P. 19** 3. 成長ドライバー
- P. 24** 4. 通期業績予想について
- P. 26** Appendix

Executive Summary

1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト
2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
3. 成長ドライバー
4. 通期業績予想について

Appendix



売上高・営業利益とも計画に対しOn Trackで推移しており、増収増益傾向を継続。

売上高

407 百万円

前年同期比 △0.1%

営業利益

△33 百万円

前年同期比 +11百万円

EBITDA

+0 百万円

前年同期比 +13百万円

四半期純利益※

△30 百万円

前年同期比 +16百万円

※親会社株主に帰属する四半期純利益

*SBCメディカルグループ株式会社によるTOB効果は含まれておりません。

主な取り組み等

グループ施策外観

- メディカルサポート事業が展開する「血液由来加工サービス」の事業は、当初見込み通り堅調に推移。
- 2025年12月、SBCメディカルグループ株式会社による当社株式公開買付けを経て、同社の連結子会社化。

【2026年9期第1四半期での取り組みの結果と方向性】

当社の成長は「一時的なブーム」ではなく、医療機関との継続取引に基づくストック型モデルへと着実に移行。

(百万円)	2025年9月期	2026年9月期 1Q		
	1Q実績	実績	増減額	増減率
売上高	407	407	△0	△0.1%
売上総利益	322	312	△10	△3.1%
売上総利益率	79.1%	76.7%	△2.4%	-
販管費	368	346	△21	△5.9%
営業利益	△45	△33	11	-
営業利益率	-	-	-	-
経常利益	△46	△35	10	-
当期純利益	△47	△30	16	-

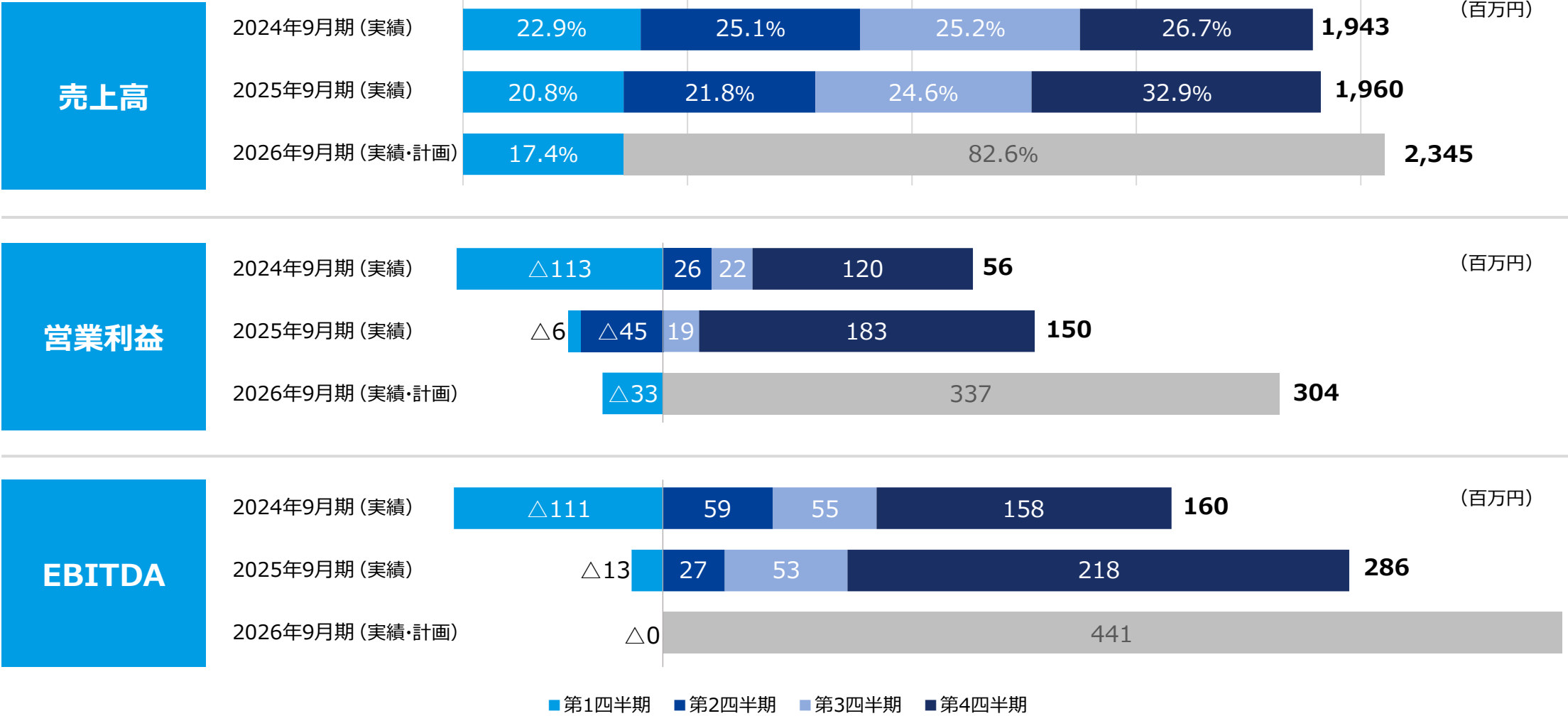
Executive Summary

1. **2026年9月期 第1四半期業績ハイライト**
2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
3. 成長ドライバー
4. 通期業績予想について

Appendix



2026年9月期 第1四半期売上高・営業利益の推移（サマリー）

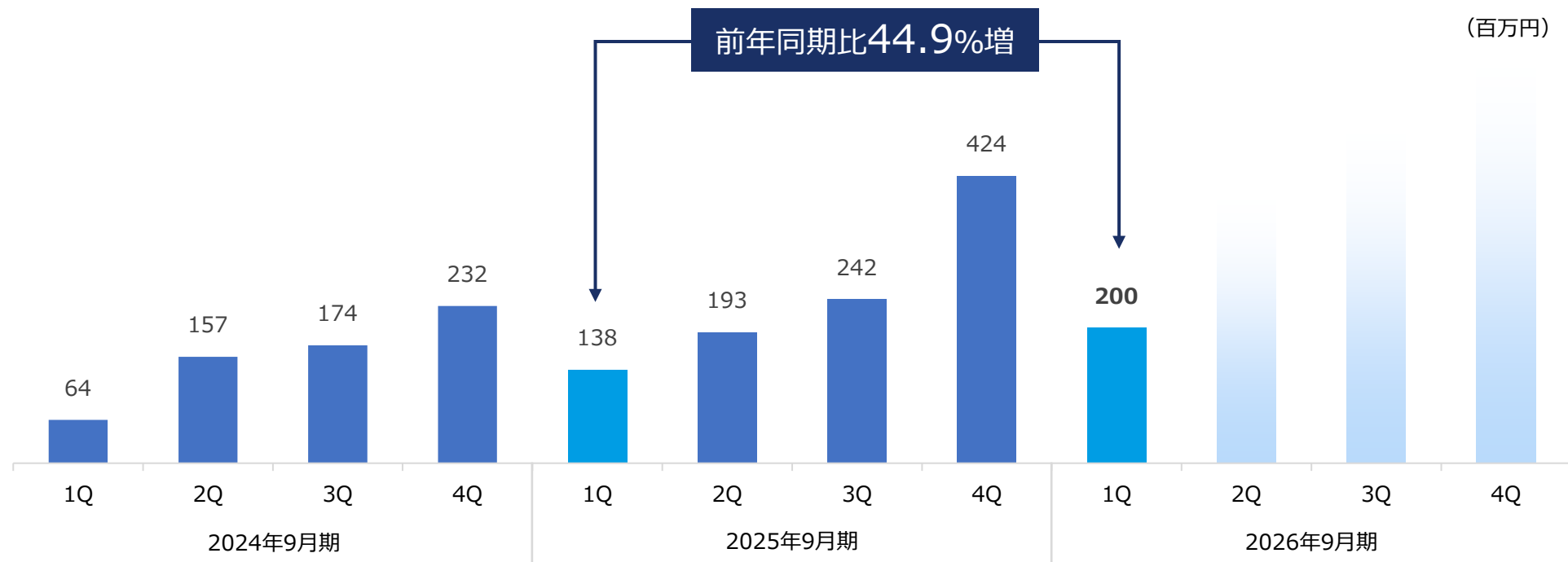


メディカルサポート事業の概況

- 事業収益は、年次サイクルとなるため、1Qから4Qへ上昇するモデル。
- 売上高は前年同期比44.9%増加。期初計画値を上回り着地。

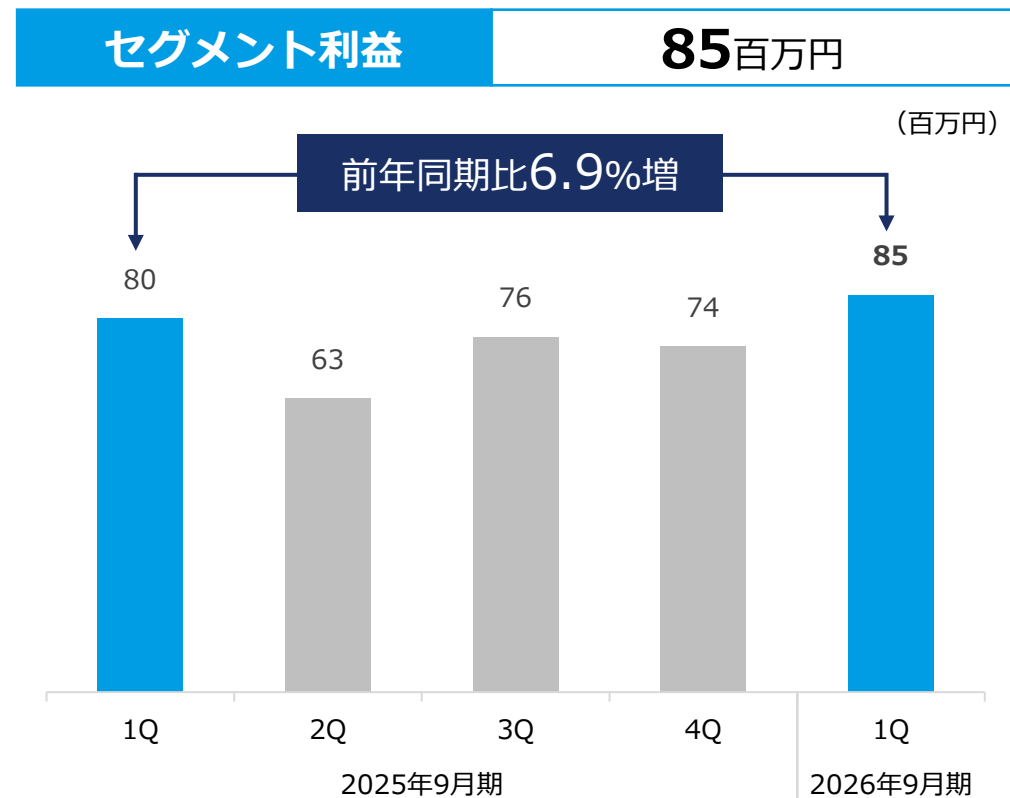
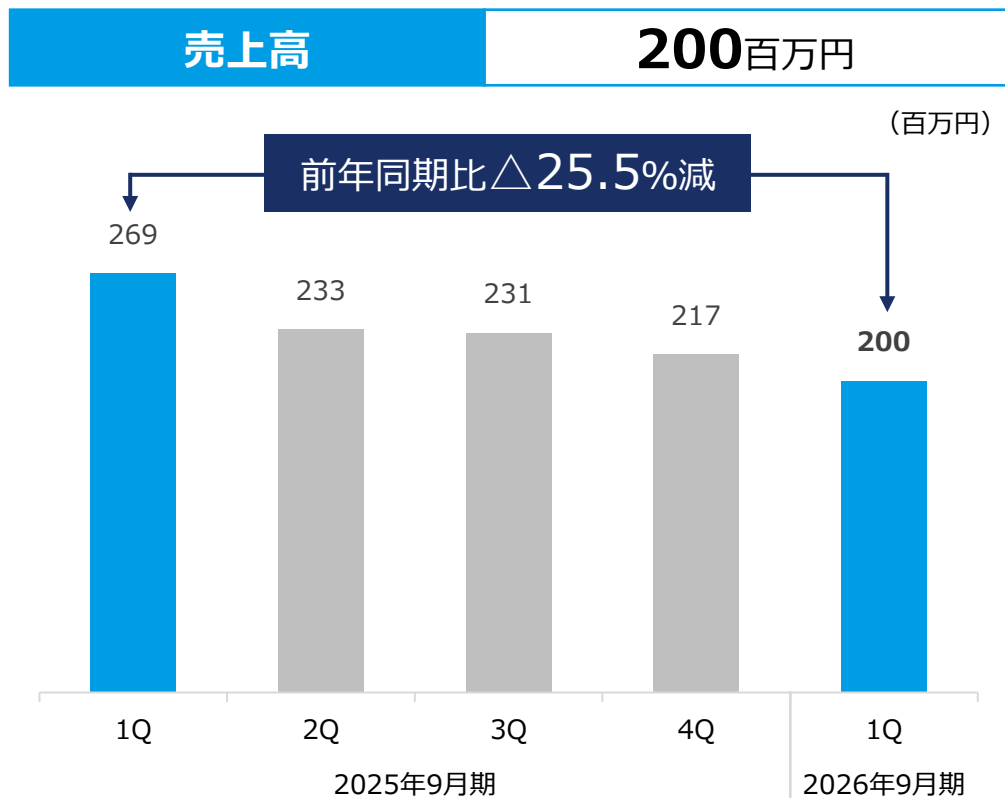
売上高

200百万円



D2C事業の概況

- 2025年9期2Qからの方針を踏襲し、広告投資をはじめとするコスト最適化。



貸借対照表サマリー

●積極的な営業活動・人財投資・R&Dへの成長投資を実行した上で引き続き、強固な財務基盤を維持。

(百万円)	2025年9月末	2025年12月末	増減	
流動資産	1,781	1,672	△109	● 売掛金の減少 △56百万円 ● 現金及び預金の減少 △45百万円によるもの
固定資産	1,417	1,391	△26	
有形固定資産	375	375	△0	
無形固定資産	1,011	980	△31	● のれんの償却額 △30百万円によるもの
投資その他の資産	29	34	5	
資産合計	3,199	3,063	△135	
負債合計	1,107	993	△113	
流動負債	691	602	△88	● 未払法人税等の減少 △63百万円によるもの
固定負債	415	391	△24	● 長期借入金の減少 △25百万円によるもの
純資産合計	2,091	2,069	△21	● 利益剰余金の減少 △30百万円によるもの
負債・純資産合計	3,199	3,063	△135	
自己資本比率	65.1%	67.1%	2.0pt	

Executive Summary

1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト

2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～

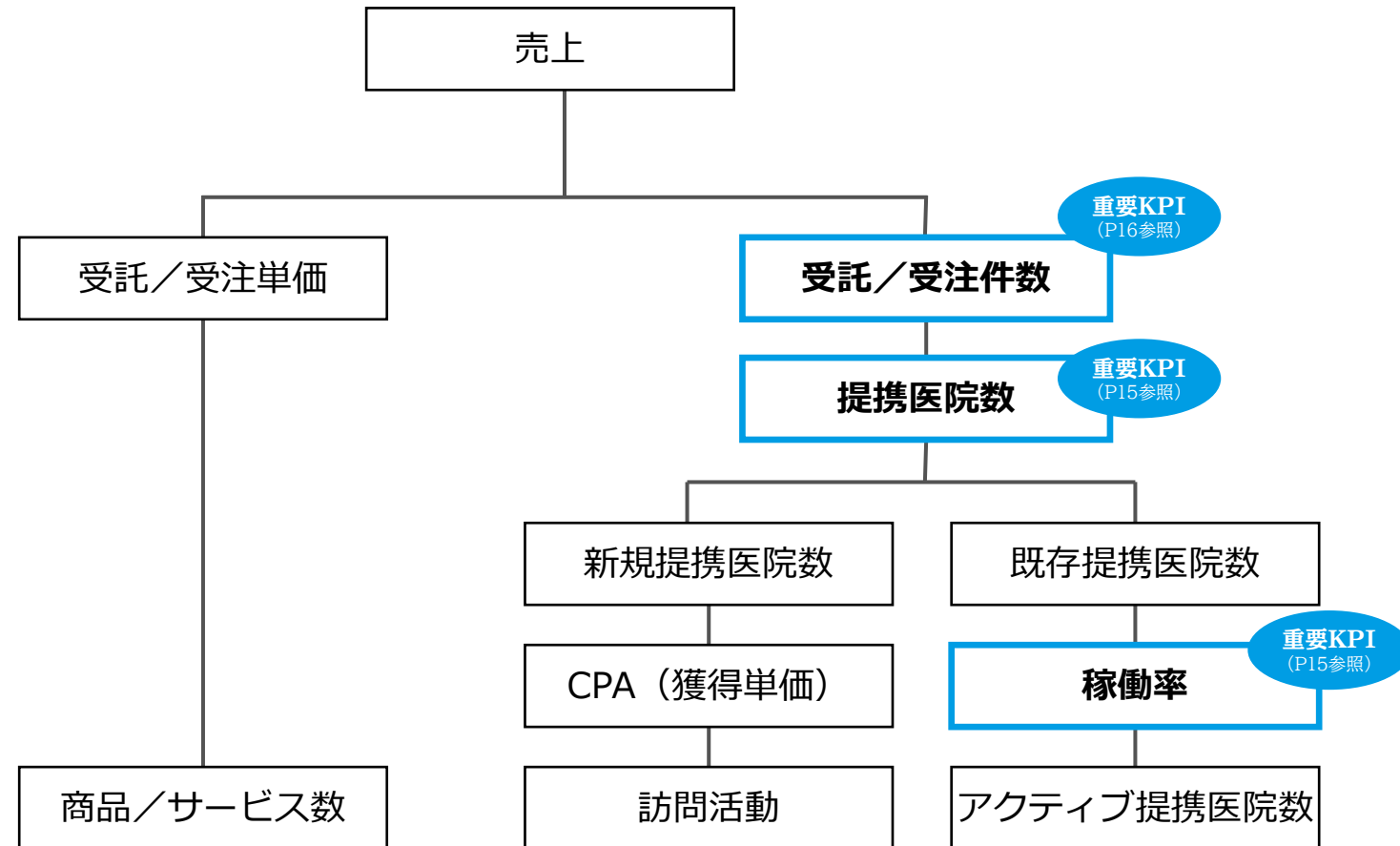
3. 成長ドライバー

4. 通期業績予想について

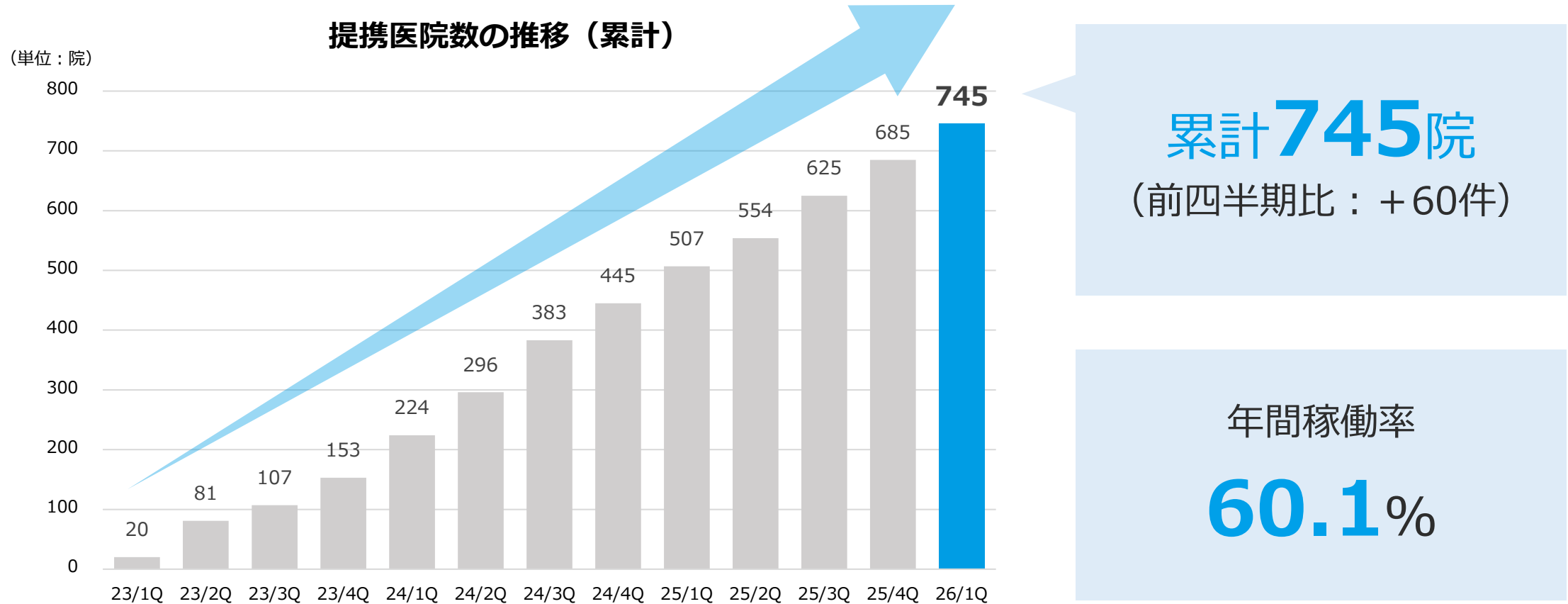
Appendix



- メディカルサポート事業の重要KPIは、提携医院数（P15）、年間稼働率（P15）、加工受託件数（P16）と平均加工受託件数（P17）と設定
- 特に各医院の稼働率向上への取り組みに注力。



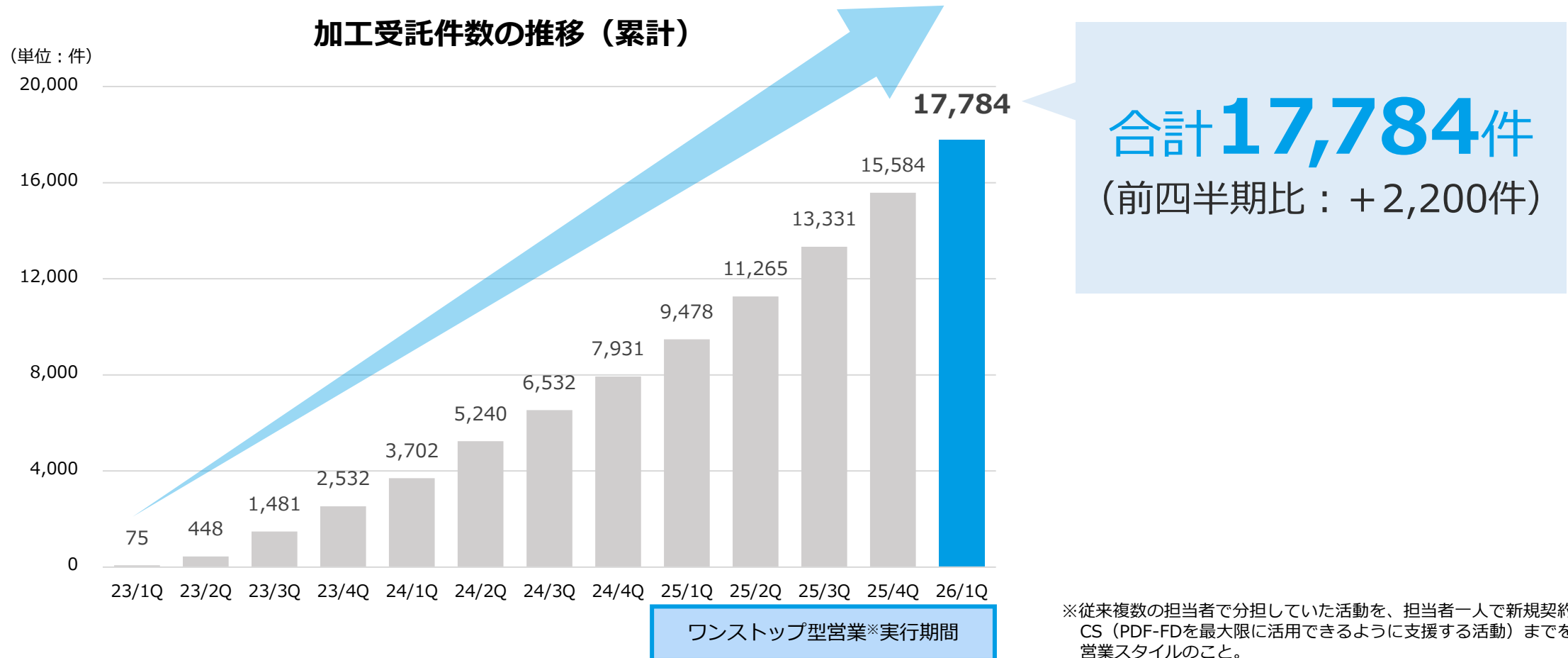
- 血液由来加工サービス「PDF-FD」※ の提携医院数（累計）は745院達成。800院到達が視野。
- 年間稼働率も高水準を維持。



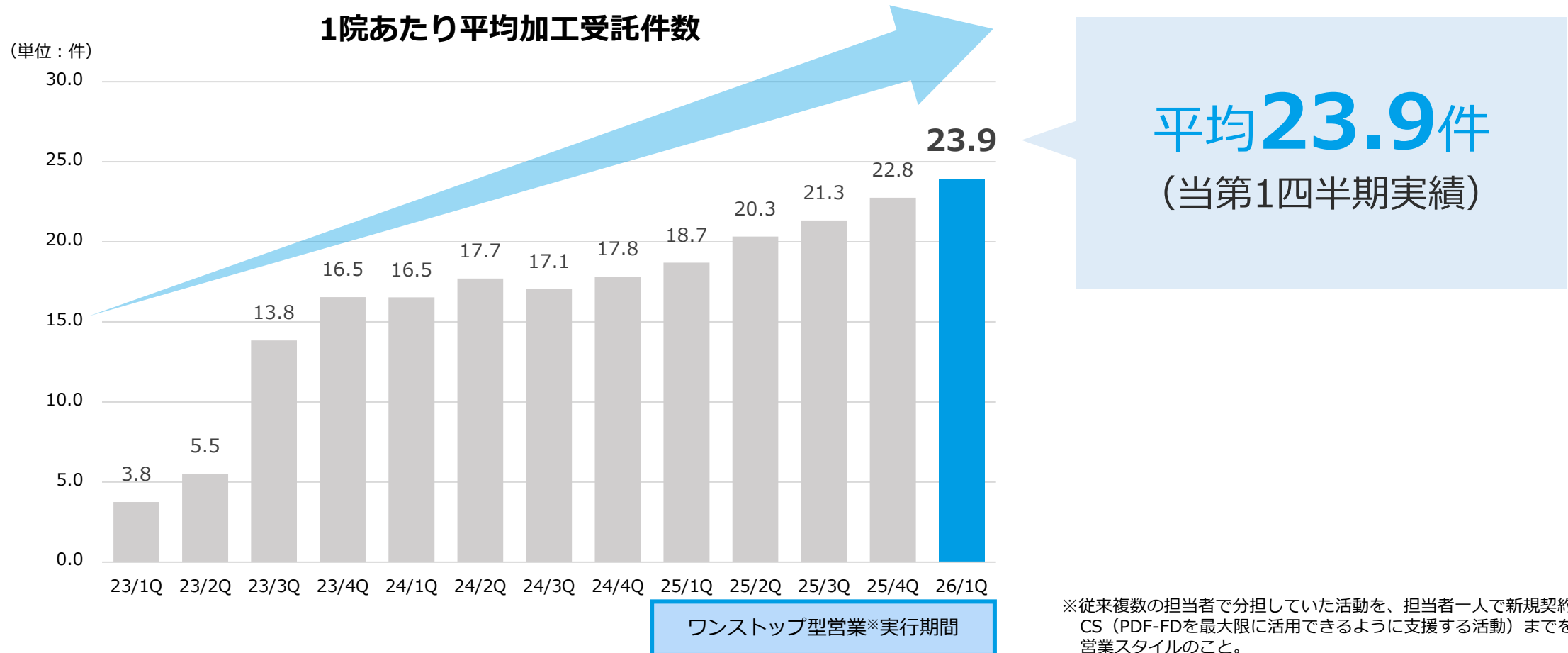
* 2025年1月～2025年12月の対象期間中に1件以上の発注のあった提携医院の比率として算出。

※Plasma Derived Factor-Freeze Dry：血漿由来因子治療

- 血液由来加工サービス「PDF-FD」の加工受託件数（累計）は17,000件を突破し極めて順調に推移。
- 前四半期比で+2,200件と高い成長を達成。1院あたりの加工件数が増進。



- 血液由来加工サービス「PDF-FD」の1院あたり平均加工受託件数は、23.9件となり過去最高値を更新。
- 稼働提携医院数、平均加工受託件数の増加傾向継続。引き続き主要営業戦略として注力。



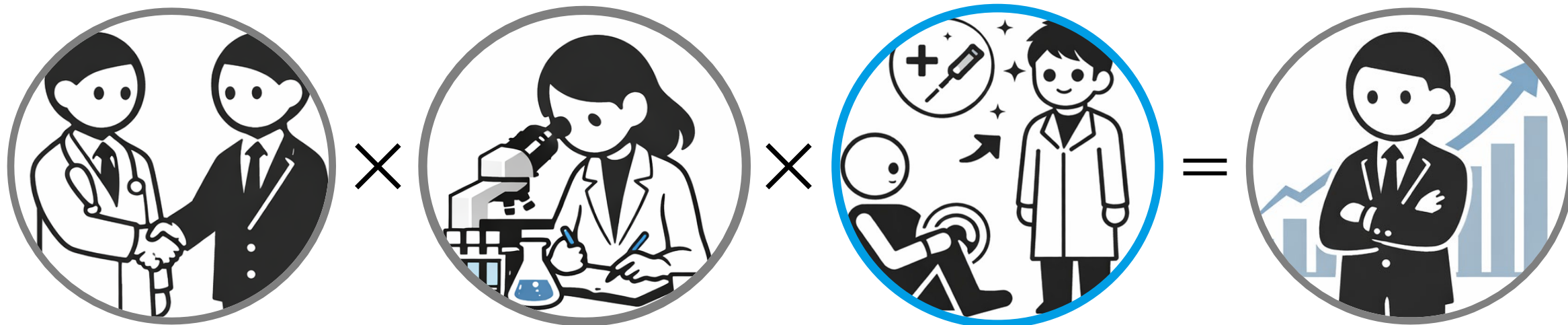
- 当社のメディカルサポート事業は、KPIの積み上げがそのまま業績成長につながる構造。
- 「提携医院数の増加（P15）」×「1医院あたりの平均加工受託件数（稼働率）の増加（P15・16）」＝売上収益の増加。
- 当社の事業モデルは「一時的なブーム」ではなく、医療機関との継続取引に基づくストック型モデル。

提携医院数

商品／サービス数

受託／受注件数・稼働率

売上・収益の増加



Executive Summary

1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト
2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
- 3. 成長ドライバー**
4. 通期業績予想について

Appendix



2025年12月26日「支配株主等に関する事項について」にて開示。SBCメディカルグループ株式会社の当社株式保有割合が50%超となり当社親会社に該当。



×

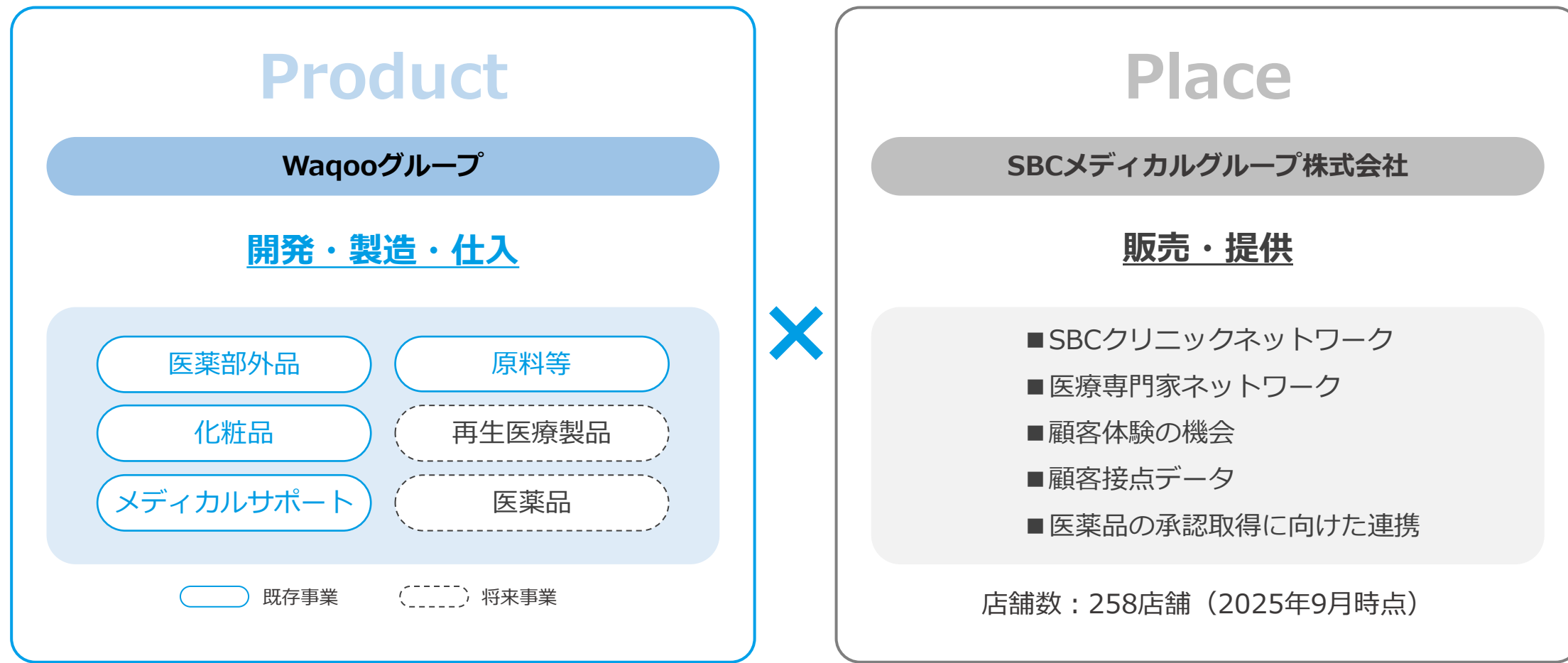


2025年12月26日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」より

- 1 製品企画・開発における協業
- 2 販売チャネルの拡大とクロスチャネル戦略
- 3 メディカルサポート事業の強化・提携医院ネットワーク拡大
- 4 マーケティング効率・顧客管理（CRM）領域での協業による収益性改善
- 5 再生医療・将来技術領域での共同研究及び商品・メニュー開発
- 6 SBCグループのクリニックネットワークを生かした販路拡大
- 7 未承認医薬品・未承認医療機器の共同研究及び開発
- 8 コスト競争力の強化



グループで創る4P戦略。株式公開買付けを通じた資本業務提携により、持続的な成長基盤を構築。





当社連結子会社セルプロジャパン株式会社の知財戦略
～知財を“守り”ではなく“攻め”の成長投資として活用～

出願中/登録済み特許一覧

タイトル	出願件数	登録件数	登録番号	対象マーケット
細胞培養方法および培養上清の製造方法	4件	1件	7717413	医療・美容
細胞の培養上清を生産する方法	4件	1件	7468955	医療・美容
無細胞系血漿又は血清の製造方法	3件	1件	7584176	医療・美容
幹細胞培養上清液およびその製造方法	1件	1件	7520397	医療・美容
他出願中案件	9件	－		
合計	20件	4件		

※国際特許出願（PCT）、分割出願などによる戦略的な特許出願を進行中

Executive Summary

1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト
2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
3. 成長ドライバー
- 4. 通期業績予想について**

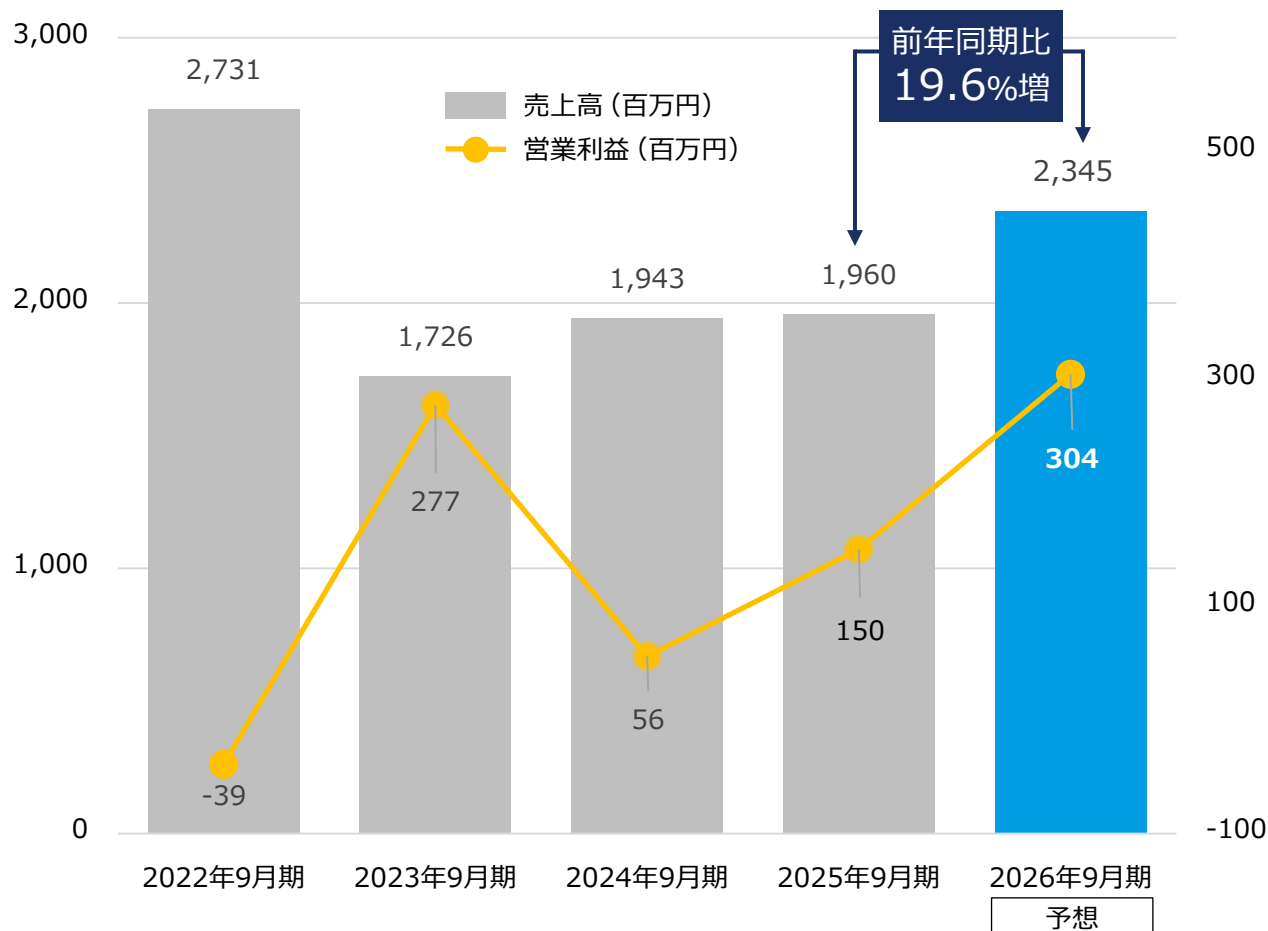
Appendix



4. 通期業績予想について

- メディカルサポート事業の伸長に伴い、増収増益を計画。
- 営業利益は前年比約2倍を見込んでおり、上場来最高益水準を計画。

売上高と営業利益の推移



2026年9月期業績予想

19.6%増収、営業利益は約2倍へ
上場来最高益水準を計画

売上高	2,345 百万円	+19.6%
営業利益	304 百万円	+101.5%
当期純利益	184 百万円	+319.0%

SBCメディカルグループのTOBに伴う
シナジー効果は未反映

グループシナジー戦略について協議中であり
推進とともに更なる収益増が期待できる状況

Executive Summary

1. 2026年9月期 第1四半期業績ハイライト
2. 主要KPIの推移 ～独自の成長サイクルへ～
3. 成長ドライバー
4. 通期業績予想について

Appendix



代表取締役社長 佐俣 文平


<https://x.com/BumpeiSamata>


当社代表の佐俣文平は、再生医療領域に関して広い知見を有し、「細胞培養プラットフォーム」を構成する各要素の開発実績やスキルを有しています。

学術論文

【細胞治療】

- 大脳皮質神経細胞を純化するためのL1CAMマーカー同定に関する研究
(DOI: 10.3389/fncel.2020.00031)
- ドパミン神経細胞を純化するためのLRTM1マーカー同定に関する研究
(DOI: 10.1038/ncomms13097)
- ドパミン神経細胞を純化するためのCORINマーカー同定に関する研究
(DOI:10.1016/j.stemcr.2014.01.013)

【移植細胞の機能強化】

- 障害後の脳内成分を利用することで細胞移植治療効果を向上させる研究
(DOI: 10.1093/stcltm/szae066)
- 細胞移植治療に既存薬を併用することで移植細胞の機能が向上する研究
(DOI: 10.1002/jnr.24668)
- 細胞移植治療に既存薬を併用することで移植細胞の機能が向上する研究
(DOI: 10.3389/fncel.2013.00011)
- 運動後の脳内環境が移植細胞の機能向上に寄与する研究
(DOI: 10.3233/JPD-191755)
- 細胞移植にホルモン薬を併用することで移植細胞の機能向上に寄与する研究
(DOI: 10.1016/j.stemcr.2016.02.008)

特許権等知的財産権の取得(申請含む)

- 幹細胞培養上清液およびその製造方法 特願2024-107235
- 幹細胞培養上清液およびその製造方法 特願2022-130872 (特許第7520397号)
- 細胞の培養上清を生産する方法 特願2023-207564 (特許第7468955号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2021-131135 (特許第7282304号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2019-085612 (特許第6933843号)
- 新規ドーパミン産生神経前駆細胞の誘導方法 特願2015-535520 (特許第6558580号)

企業概要

会社名	株式会社Waqoo
設立	2005年12月2日
資本金	5,716万円（2025年12月末現在）
代表者	代表取締役社長 佐俣 文平
本社	東京都世田谷区上馬2-14-1
事業内容	1. メディカルサポート事業 2. D2C事業
従業員数 （連結）	95名 （2025年9月末時点/産休・育休者含）



沿革

2005年12月	●	東京都文京区に設立、コマース事業を開始
2007年4月	●	代表取締役社長 井上 裕基（現会長） 就任
2014年4月	●	化粧品「HADA NATUREクレンジング」の販売を開始
2015年10月	●	株式会社Waqooに商号変更
2021年6月	●	東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース）に株式を上場
2022年8月	●	SBCメディカルグループ株式会社と業務提携契約を締結
2023年6月	●	薬用炭酸ヘッドスパ育毛剤「sodatei（ソダテル）」販売開始
2023年11月	●	セルプロジャパン株式会社との株式交換契約を締結
2023年12月	●	代表取締役社長 佐俣 文平 就任
2025年12月	●	SBCメディカルグループ株式会社による当社株式に対する公開買い付けの実施により、SBCメディカルグループ株式会社の子会社となる

【ご注意事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

【IRに関するお問い合わせ】

株式会社Waqoo IR担当 E-mail : ir@waqoo.jp